

[C1]
[C2]-2023- 人間科学

専門(記述式)試験問題

注意事項

1. 問題は**6題**あります。このうち**任意の2題**を選んで解答してください。
2. 解答時間は**3時間30分**です。
3. 答案用紙の記入について
 - (ア) 答案は濃くはっきり書き、書き損じた場合は、解答の内容がはっきり分かるように訂正してください。
 - (イ) 問題**1題につき1枚**(両面)を使用してください。
 - (ウ) 表側の各欄にそれぞれ必要事項を記入してください。
問題番号欄には、解答した問題の番号を記入してください。
 - (エ) 試験の公正を害するおそれがありますので、答案用紙の切取線より下の部分に氏名その他解答と関係のない事項を記載しないでください。
4. この問題集は、本試験種目終了後に持ち帰りができます。
5. 本試験種目の途中で退室する場合は、退室時の問題集の持ち帰りはできませんが、希望する方には後ほど渡します。別途試験官の指示に従ってください。なお、試験時間中に、この問題集を切り取ったり、転記したりしないでください。
6. 下欄に受験番号等を記入してください。

第1次試験地	試験の区分 人間科学	受験番号	氏名
--------	---------------	------	----

指示があるまで中を開いてはいけません。

途中で退室する場合………本試験種目終了後の問題集の持ち帰りを 希望しない

【No. 1】～【No. 6】から**任意の2題**を選択して解答してください。

(心理学に関連する領域)

【No. 1】 人間の感情に関する以下の問いに答えなさい。

- (1) B. L. フレデリクソン (1998, 2001) による「拡張－形成理論」(図1)では、ポジティブ感情の機能として拡張と形成があるとされる。拡張機能は、ポジティブ感情の経験によって、思考－行動レパートリー(新奇な思考、柔軟な思考、行動など)が一時的に広がることを意味している。また、形成機能は、思考－行動レパートリーの拡張によって、様々な個人資源(スキル、レジリエンス、知識など)が継続的に形作られることを示している。そして、それらの機能は人間のらせん的变化と成長(心身の健康の強化・促進、充実感など)に寄与するとされている。

著作権の関係のため、掲載できません。

図1 拡張－形成理論の図式

次の研究1、2、3のそれぞれについて、B. L. フレデリクソンによる「拡張－形成理論」のどのような側面と関係していると考えられるか、そのように考える理由と併せて説明しなさい。

(次ページに続く)

[研究 1]

著作権の関係のため、掲載できません。

[研究 2]

著作権の関係のため、掲載できません。

[研究 3]

著作権の関係のため、掲載できません。

図 2 グローバル・ローカル課題の刺激例

- (2) ネガティブ感情の研究と比較すると、ポジティブ感情の研究の進展は遅かったとされている。その理由について説明しなさい。

(心理学に関連する領域)

【No. 2】 ストレス及びストレスマネジメントに関する以下の問いに答えなさい。

(1) 一般に「ストレス」という言葉が使用されるが、心理学における「ストレス」の定義を簡潔に説明しなさい。

(2) これまでのストレス研究の流れについて、以下の 中の人名及び用語を全て用いて説明しなさい。

なお、初めて人名及び用語を使用するときは下線を引くこと。

社会的再適応評価尺度、H. セリエ、認知的評価、
汎適応症候群、R. S. ラザラスとS. フォルクマン

(3) デスクワークの多い職種において、うつ病を発症し休職する者が増加していることが分かったとする。こうした問題に対処するため、効果の検証を前提に、デスクワークの多い職種の全労働者向けに、e-ラーニングによるストレスマネジメント・プログラムを開発することにした。プログラムは、週1回の全4回で、1回約1時間半程度であり、構成は以下のとおりである。

〈構成〉

第1回 ストレスに関する知識の講義

第2回 認知トレーニング

第3回 リラクゼーション法

第4回 ストレスが改善された事例や相談窓口の紹介

なお、「デスクワークの多い職種」とは、「勤務時間のほとんどを書類作成や整理、電話やメール対応を行う事務職」を指すものとする。

以上を踏まえ、次の問いに答えなさい。

(次ページに続く)

- ① 第3回のリラクゼーション法では、以下の の中の三つを取り上げることにした。
三つのうちから一つを選び、その具体的な方法と効用について6～7行程度で説明しなさい。

自律訓練法、漸進的筋弛緩法、系統的脱感作法

- ② このストレスマネジメント・プログラムが、デスクワークの多い職種の労働者に対し抑うつ感を低減させる効果をもつことを、科学的に検証するとする。その研究計画における仮説、方法、仮説の検証のために必要な分析方法を述べなさい。

(教育学、福祉及び社会学に関連する領域)

【No. 3】 以下の問いに答えなさい。

(1) 近年、我が国において、社会福祉・教育などの領域で社会課題の一つとして指摘されているヤングケアラーに関し、その当事者（ヤングケアラー本人）の生活状況や課題について説明した上で、今後行政機関が取り組むべき施策の方向性について論じなさい。

(2) 以下の問いA、B、Cのうち、いずれか一つのみに答えなさい。

なお、解答に当たっては、選択した問いを、解答の冒頭に **A** のように記すこと。

A. 近年の我が国における子供の貧困について説明した上で、貧困の問題を抱える児童生徒に対する支援としての①学校内における教員と専門職の連携や②学校と学校外の機関との連携について、具体例を二つ挙げ、その現状と課題をそれぞれ具体的に論じなさい。

なお、具体例は、①及び②から一つずつ挙げても、①又は②のいずれかから二つ挙げてもよい。

B. 我が国における出産や子育て世帯に対する経済的支援のうち、社会保険によるもの、社会手当によるもの、教育費の負担に関する制度について、それぞれ説明しなさい。

C. 子どもの成長過程における自我／自己の形成に対し、家族や仲間集団などのコミュニティが果たす機能について論じた代表的な社会学者を二名挙げ、それぞれが論じた内容を説明しなさい。

(教育学に関連する領域)

【No. 4】 ウェルビーイング (well-being) は、個人と社会の双方の視点から幸福感と充足度を検討する概念とされている。ウェルビーイングは、近年、国内総生産 (GDP) に代わる指標の一つとして挙げられており、中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」(令和3年1月)においても言及されている。また、独立行政法人教職員支援機構 (NITS) の報告書*では、我が国の教師のウェルビーイングについて、教育活動を担う「労働者」と「専門職」の二つの側面から分析されている。

教師のウェルビーイングに関する以下の問いに答えなさい。

- (1) 教師のウェルビーイングを構成すると考えられる要素を三つ挙げ、それらを挙げた理由について説明しなさい。
- (2) 我が国における教育を取り巻く現状を踏まえ、教師のウェルビーイングの阻害要因について説明しなさい。
- (3) (1)及び(2)を踏まえ、教師のウェルビーイングを促進するための具体的な方策について、以下の の中の用語を全て用いて論じなさい。

なお、初めて用語を使用するときは下線を引くこと。

子供のウェルビーイング、教師の専門性、自己効力感

* 『日本の教師のウェルビーイングと制度的保障—令和3年度日本発教師のwell-being (個人的社会的幸福) のための制度的保障に関する調査研究プロジェクト 報告書』(令和4年3月)

(福祉に関連する領域)

【No. 5】 我が国における在留外国人の状況に関する以下の問いに答えなさい。

- (1) 我が国における外国人労働者の受入れ制度や受入れ状況について、1990年代から現在に至るまでの経緯と現状を説明しなさい。

- (2) (1) を踏まえ、現在の我が国における在留外国人の生活状況とその背景、支援における課題について、権利擁護の観点から論じなさい。

(社会学に関連する領域)

【No. 6】 労働に関する以下の問いに答えなさい。

(1) いわゆる「日本的経営」の特徴を説明しなさい。ただし、解答に当たっては、雇用期間、賃金体系、労使関係に必ず言及すること。

(2) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に対する方策として、我が国でも多くの企業・団体においてテレワークが急速に普及した。その結果、テレワークの位置付けは、「特別な働き方」から「日常的な働き方」へと変化してきたという見方もある。

そこで、①ポストコロナ時代において、テレワークのもつ可能性としてどのようなものが考えられるか、また、②テレワークを推進する場合、今後どのような課題に取り組むべきか、それぞれ論じなさい。ただし、②については、(1)で説明した日本的経営の特徴を踏まえて論じること。